

氏名	鈴木玲子	部署	看護学科	職名	教授
研究分野	人間工学 看護技術教育 看護教育 緩和ケア				
学位	修士（リハビリテーション）				
学歴	1999年筑波大学大学院教育研究科（カウンセリング専攻）修了、2015年日本大学大学院理工学研究科（医療・福祉工学専攻）満期退学				
経歴	1992年東京女子医科大学看護短期大学助手、1998年東京女子医科大学看護学部助手、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部助教授、2007年埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授、2009年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科（前期課程）准教授、2011年埼玉県立大学保健医療福祉学部および保健医療福祉学研究科教授、2013年埼玉県立大学地域産学連携センター副所長、2015年埼玉県立大学保健医療福祉学研究科（後期課程）教授、2016年埼玉県立大学学長補佐、2017年埼玉県立大学副学長(2021年3月まで)				
所属学会（役職）	日本看護研究学会（査読委員）、日本人間工学学会（関東支部監査）、日本人間工学学会関東支部、日本ヒューマン・ケア心理学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学会(理事)、日本看護学教育学会、日本看護科学学会、日本看護技術学会、日本看護学会				

【2021年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻（号）、開始-終了ページ	著者、編者名
1	該当なし					
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）		発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別		研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）		中堅看護師の教育力深化を目指したアクティブラーニング型研修の小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究代表者		2018.4～2023.3
2	文部科学省・日本学術振興会学術研究助成基金助成金（基盤研究(C)）		小グループ学習法における総括的評価に資するピア評価の確立	研究分担者		2019.4～2022.3
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅰ（総論）	○	8	国内外の成人保健の動向や理事長の特別講演など最新の情報提供に努めた。講義は遠隔授業のアクティブ・ラーニングで実施した。		
2	成人看護学Ⅲ（周術期）	○	7	日帰り手術、生殖機能障害に対する周術期看護を遠隔授業で講義した。		
3	成人看護学Ⅳ（クリティカル）		4	広範囲熱傷、胸部外傷、重度喘息に対する看護を遠隔授業で講義した。		
4	スタートアップセミナー		14	医療情報のエビデンスに関する講義企画を含めて、対面で講義を実施した。グループ学習ではZoomを用いた遠隔授業を指導した。		
5	フィジカルアセスメント（大学院）	○	5	臨床推論習得に向けて、複数の講義担当者と調整しつつ授業を行い、推論を学ぶ事例演習では受講生からも良好な反応が得られた。		
6	基礎看護技術・看護工学（大学院）	○	15	講義と文献クリティークを組み合わせた授業を展開し、研究に取り組む上で必要なスキルの学びを心掛けた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅲ（周術期）	○	4	周術期の観察方法について、シミュレータを活用して身体観察の具体的方法を教授した。		

2	成人看護学Ⅳ（クリティカル）		4	クリティカル場面で用いられる人工呼吸器装着時の看護技術を対面と一部の学生にはオンラインで教授した。
3	成人看護学Ⅴ（慢性看護）		4	事例を用いた看護診断学習を遠隔による小グループ学習のファシリテータとして学生を指導した。
4	看護研究		2	「実験研究」「研究倫理」についての講義を担当した。今年度はオンデマンド授業のため事前に講義を録画して教授した。
5	基礎看護技術・看護工学演習（大学院）	○	15	受講者の研究に沿って、調査研究の研究計画立案に関する内容を取り入れるなど工夫をした。
<b>(3) 実習</b>				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	成人看護学実習Ⅰ		2021.5～2021.6	臨床実習先の調整の関係で、学生の実習先の変更など科目責任者と相談して臨地実習環境を整え、オンライン実習を組み合わせ実施した。
2	成人看護学実習Ⅱ		2021.5～2021.6	科目責任者と臨床実習先の調整を図り、実習環境を整えた。学生の実習指導以外に、実習非常勤へのOJTでの指導や助言なども実施した。
3	総合実習		2021.7	科目責任者と臨床実習先の調整を図り、実習場の確保に努め、学生の実習前準備についての指導を行った。
<b>(4) 論文指導</b>				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2021.4～2021.12	主指導	2名
2	修士論文	2021.4～2022.3	主指導（指導教員）	1名
<b>(5) その他</b>				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	文部科学省・ウイズコロナ時代の新たな医療に対応できる色湯人材養成事業（令和3年度補正）「メニュー2A実習等に資するシミュレータなどのDX設備整備」補助金	2022.3～2023.3	（運営）責任者として、臨地実習での学びに替わる臨床推論を高めるため看護診断学習やシミュレーション教育手法の開発としての補助金申請を獲得した。	
<b>4. 社会貢献活動</b>				
<b>(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師</b>				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	研修会のインストラクター	自治医科大学附属さいたま医療センター	「エデュケーションナース研修」	2021.11
2	研修会の講師	公益法人埼玉県看護協会	「看護研究の基礎」	2021.5
3	研修会の講師	公益法人埼玉県看護協会	「看護研究の進め方」	2021.5
4	緩和ケアサロン運営	埼玉県立大学看護学科研究グループ	ニュースレターの編集・発行・送付	2021.9 2022.3
<b>(2) 国、自治体、学術団体等における委員等</b>				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	埼玉県ナースセンター事業運営委員会	委員		2019.2～現在
2	一般社団法人 日本人間工学会関東支部	幹事		2020.6～2022.06
3	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会	理事		2021.4～現在
<b>(3) ジャーナリズムでの発言</b>				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
<b>(4) その他</b>				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県南部保健所	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所業務の支援	2021.9
2	地域貢献活動	埼玉県朝霞保健所	新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所業務の支援	2022.1～2022.3
<b>5. 学内運営</b>				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試委員会		2021.4～2023.3
2	全学的委員会及びセンター業務等	高等教育開発センター 2021年度ヒューマンケア実習室管理部会員		2021.4～2022.3
3	大学広報活動	高等学校出張講座（2回）		2021.10～2021.11

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		